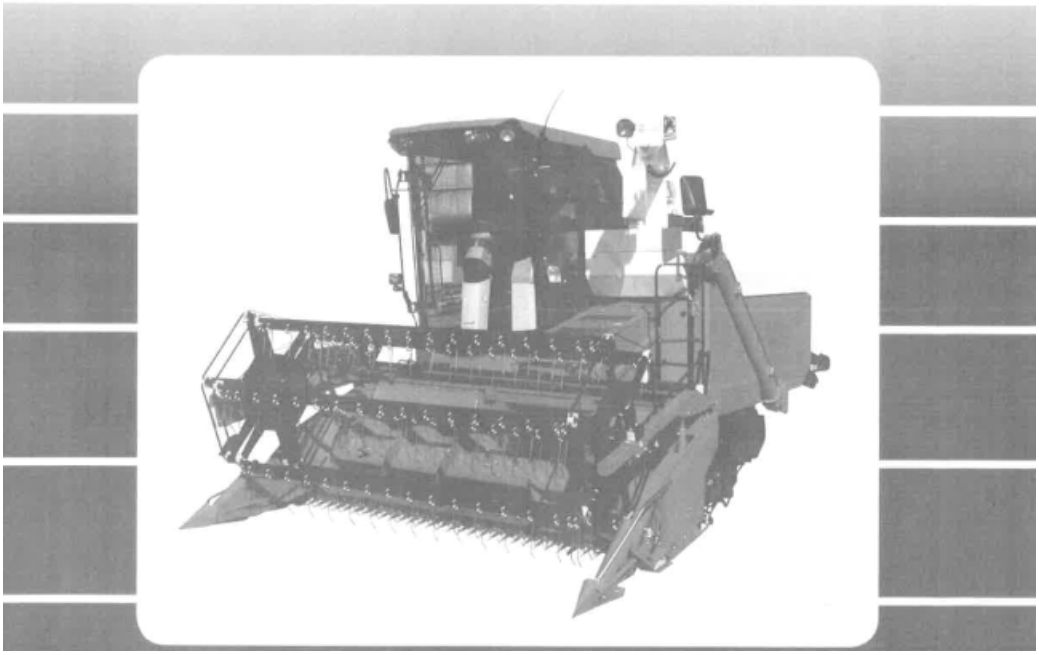
そばキット

取扱説明書

BW1100AM・BW1100BM
(MCH950・980・1100そばキット)



ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

はじめに

お使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は、本製品の取り扱い方法と、使用上の注意事項について記載していますので、コンバインの取扱説明書と合わせてお読みください。本製品をご使用いただく前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容を理解して正しくお使いください。
また、お読みになった後も、この取扱説明書をコンバインのシート後のポケットに入れ、いつもお手元に置いて、必要に応じて活用してください。

お願い

- この取扱説明書の内容が理解できるまで、本製品をご使用にならないでください。
- 本製品を貸したり、譲渡するときは、この取扱説明書を本製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書および安全銘板を、紛失または損傷された場合は、速やかに当社の特約店または販売店にご注文ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただいた特約店・販売店・JA へご相談ください。

おことわり

- 本製品は改良のため、使用部品などを変更することがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容には、作成にあたり万全を期しておりますが、万一の誤りや記載もれなどが発見されてもただちに修正できないことがあります。

このコンバインは、路上（公道）走行できません。

このコンバインは、道路運送車輌法の保安基準に適合する装備をしておりませんので、法令により公道を自走することができません。公道を移動する場合は、必ずトラックなどにのせて運搬してください。※積載するトラックの選定など、道路交通法を守ってください。

説明記号の見方

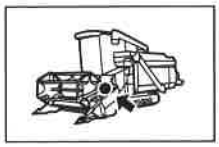
⚠危険 その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠警告 その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠注意 その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

[重要] 誤りやすい組み付けや操作に対する注意を示します。守らないと、組み付けできなかったり、機械の破損や、故障の原因になります。

[参考]
- 作業効率を良くしたり、誤った操作をしないための補足説明です。
- 取り付けを行ううえでの補足説明です。



説明箇所の位置と、見ている方向を示します。
● 印:位置 ➡ 印:見ている方向

本製品の使用目的について

本製品は、コンバインによるそば刈取作業のときにご使用ください。使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。(詳細は、保証書をご覧ください。)

目　次

はじめに.....1

1章　そばキット構成表.....4

2章　保証とサービスについて 5

3章　そばキットについて 6

1. 梱包部品となまえ.....6
2. 交換･取り付けのしかた.....7
3. 各部の調節のしかた.....8
4. 主要消耗部品一覧表.....13

4章　上手な収穫作業のしかた 14

1. そばの収穫時期について.....14
2. そばの収穫作業のポイント 14

1章 そばキット構成表

		コンケーブ			付属品(そば)		
使用部品		コンケーブパイプ 30 97320000340	6個	白	①取扱説明書 97320017300	1個	
					②デバイダ(ソバR 94950001501	1個	
					③デバイダ(ソバL 94950001511	1個	
					④Uナット 8 94690002630	9個	
					⑤ハイカンイタ 97290000340	3個	
					⑥ソバカバー 97180010630	1個	
					⑦サガネ(ミガキ8 AAAA0000012	4個	
					⑧ザガネ(ダイマル8 AAAA0000022	9個	
					⑨ボルト(ヒラ+バネ8×25 97090001760	13個	
					⑩コガタナット 8 97090014990	4個	
そば	BW1100AM				○		
	BW1100BM	○			○		

BW1100AMはビーンキットをお持ちのお客様向けで、
大豆専用部品ビーンキットB1100-KPMにはコンケーブパイプ30が含まれています。

2章　アフターサービスと補修部品について

アフターサービスをお受けになるときは

機械の調子が悪いときに点検・処置しても、なお不具合があるときは、下記の点を明確にして、お買い上げいただいた販売店・JA、お近くの当社支店までご連絡ください。

〈連絡していただきたい内容〉

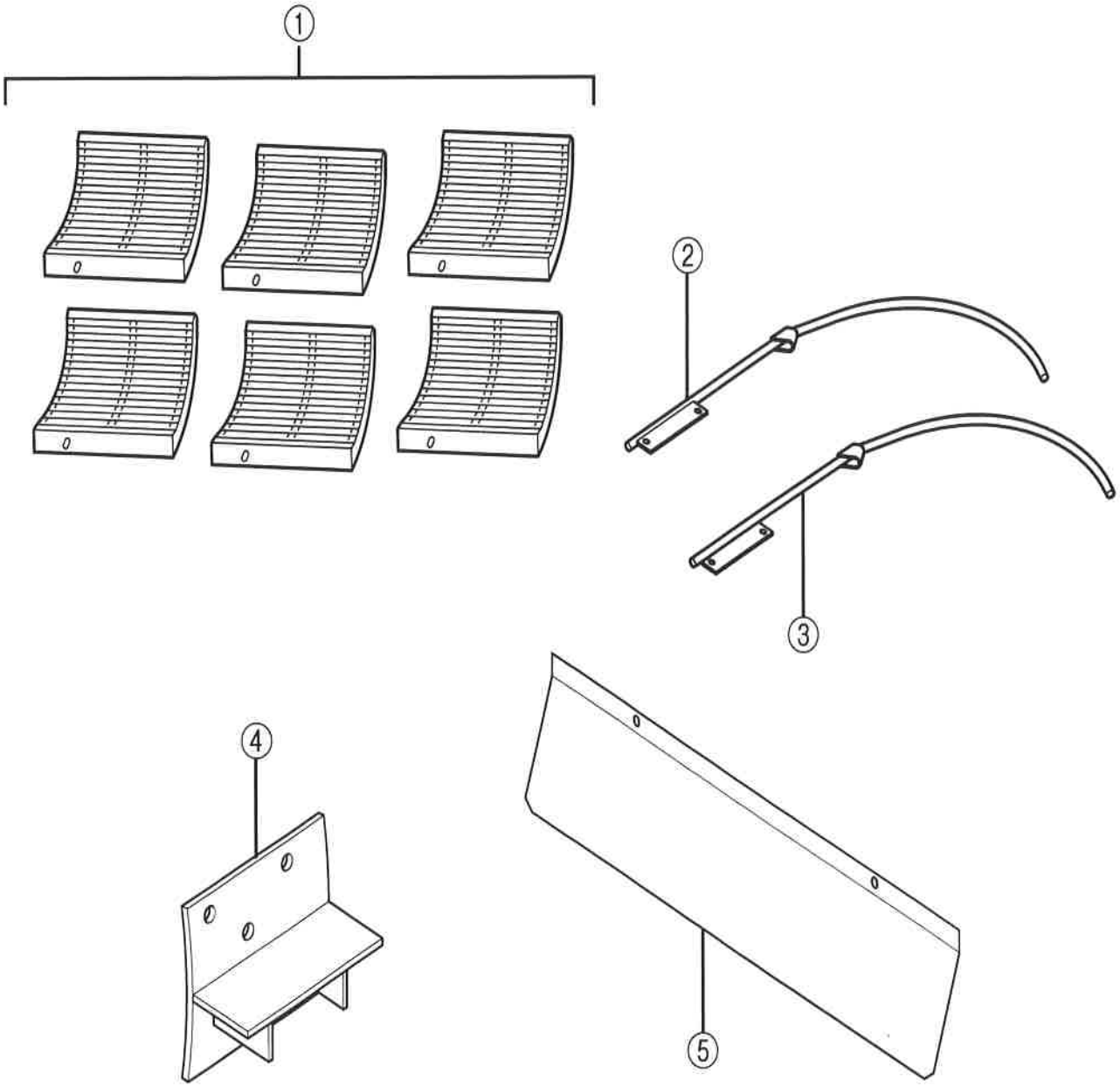
- 本機型式名と製造番号
- ご使用状況は？
  （何速で、どんな作業をしていたときに）
- どのくらい使用されましたか？
  （約□□アールまたは約□□時間使用後）
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えください

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

3章 そばキットについて

1. 梱包部品となまえ



No.	内 容 部 品	仕 様	
		そばキット	
		BW1100AM	BW1100BM
①	コンケーブパイプ30	—	6
②	デバイダR	1	1
③	デバイダL	1	1
④	排稈板	3	3
⑤	そばカバー	1	1

2. 交換・取り付けのしかた

そばの刈取作業をするときは、そば専用部品との交換および各部の調節・掃除が必要です。以下の要領に従って行ってください。

⚠警告

- 部品を交換・取り付けるときは、交通の危険がなく、平坦で安定した場所で行ってください。守らないと、機械が転倒するなど、思わぬ事故の原因になります。
- 部品を交換するときは、エンジンを停止して、駐車ブレーキをかけ、各レバーを「切」位置にして、回転の停止を確認してから行ってください。守らないと、回転部に巻き込まれたり、重大な事故の原因になります。
- 刈取部を上げて部品を交換するときは、必ず刈取部ストッパを「固定」位置にして、刈取部を固定してください。
- 複数で作業するときは、安全を確保するために、キースイッチのキーを抜いてください。

⚠注意

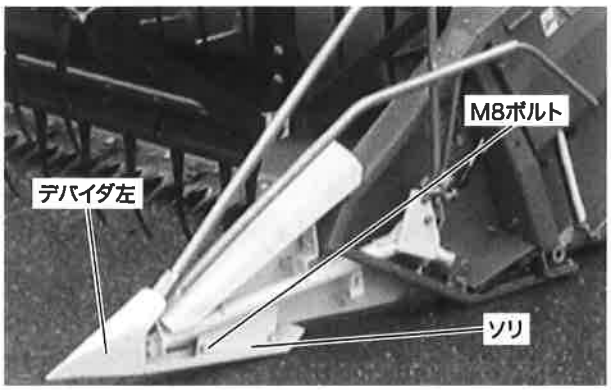
- 点検・整備をするときは、過熱部分が十分に冷めてから行ってください。ヤケドをするおそれがあります。
- カバーを取り外して部品を交換したときは、必ずカバーを元通りに取り付けてください。元通りに取り付けないと、回転部に巻き込まれたり、傷害事故を起こす原因になります。

(1) 取り付け前の準備

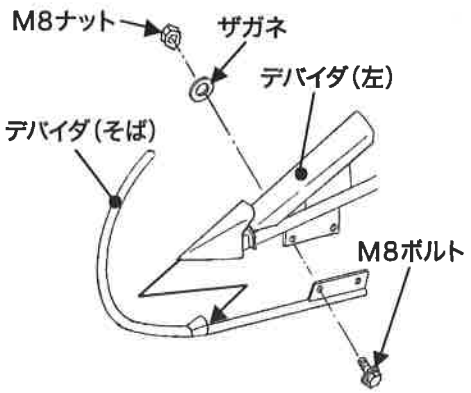
1. コンバインを交通の危険がなく、平坦で安定した場所に移動してください。
2. エンジンを停止して、駐車ブレーキをかけてください。
3. キースイッチからキーを抜いてください。

(2) デバイダ（そば）の組み付けかた

1. デバイダ（左）のソリを取り外してください。(M8ボルト2本)



2. デバイダ先端をデバイダ(そば)のガイドに入れて、デバイダ(そば)を取り付けてください。(M8ボルト、ナット、ザガネ、各々2個)

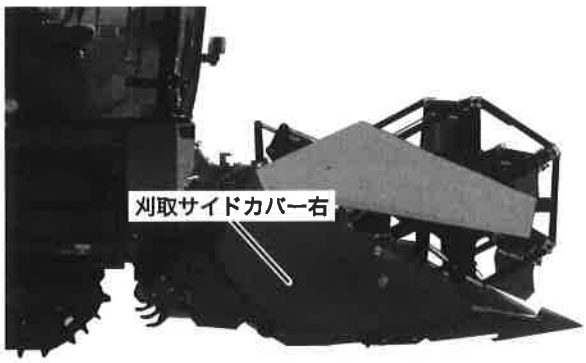


3. デバイダ(右)も同じように、組み替えてください。

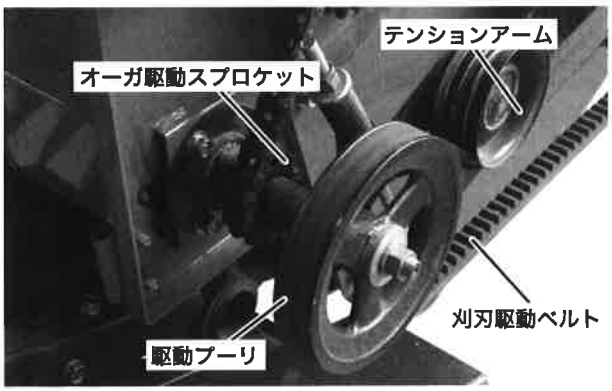
3. 各部の調節のしかた

プラットホームオーガ回転数の調節のしかた

1. 刈取サイドカバー右を取り外してください。



2. 刈刃駆動ベルト・駆動プーリ・テンションアームを取り外してください。
3. オーガ駆動スプロケットが14T(稲・麦(標準))であるか、確認してください。



作物別スプロケット一覧表

オーガ駆動スプロケットの歯数	作物				
	大豆	小豆	そば	稲	麦
12T（梱包部品）	○	×	×	×	×
14T	×	○	○	○	○

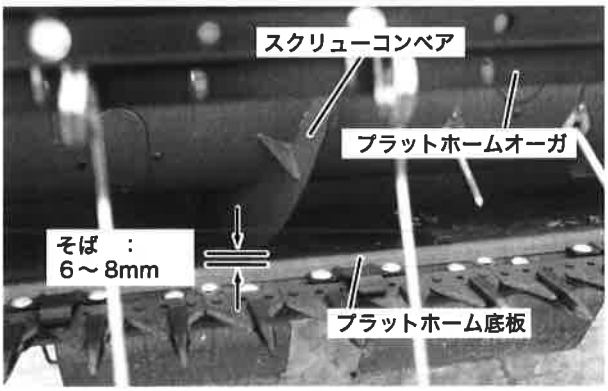
プラットホーム底板とスクリューコンベアのすき間調節のしかた

⚠警告

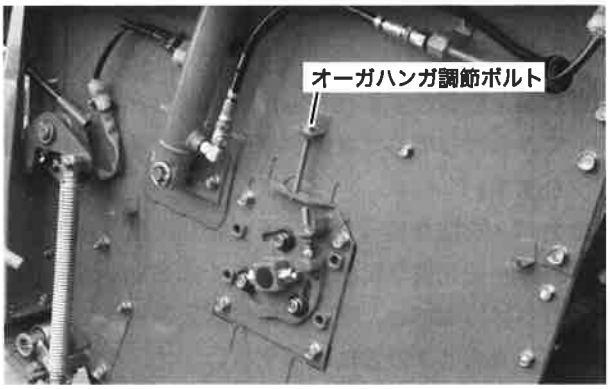
●プラットホームオーガを手で回転させるときは、刈刃やリールが動くので、十分注意してください。

〈調節のしかた〉

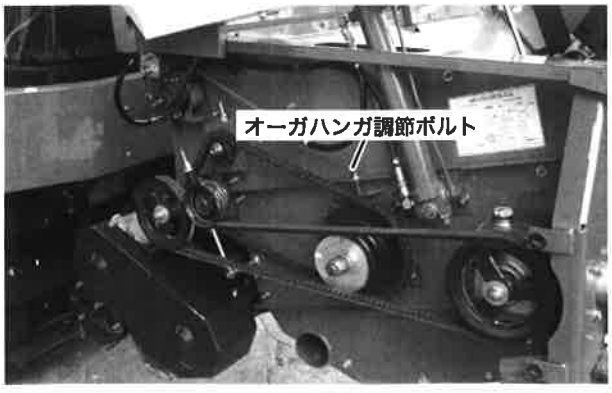
1. リールを最上げにしてください。
2. プラットホーム底板とスクリューコンベアとのすき間が6～8mmになるように、オーガハンガ調節ボルトで調節してください。



プラットホーム左側



プラットホーム右側



プラットホーム底板とオーガフィンガのすき間調節のしかた

⚠警告

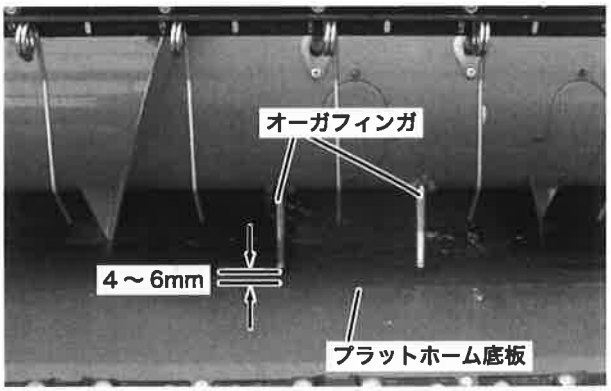
●プラットホームオーガを手で回転させるときは、刈刃やリールが動くので、十分注意してください。

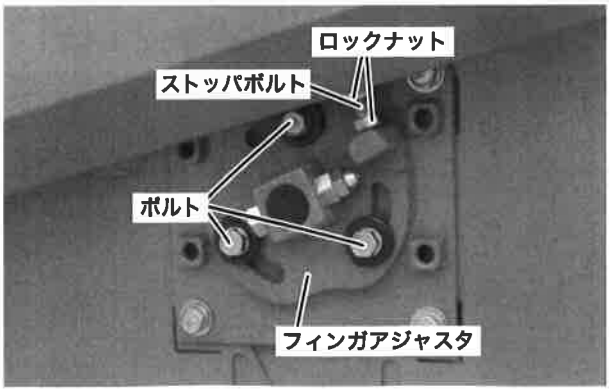
〈点検のしかた〉

1. リールを最上げにしてください。
2. プラットホームオーガを手で回転させ、中央部のオーガフィンガが、プラットホーム底板に最も近い位置で、底板からフィンガ先端までの寸法を測定し、4～6mmになっていることを確認してください。

〈調節のしかた〉

1. 基準範囲内（4～6mm）にないときは、ボルト（3本）とフィンガアジャスタのロックナットをゆるめてください。
2. フィンガアジャスタを回転させて調節してください。
3. ストッパボルトで固定してください。

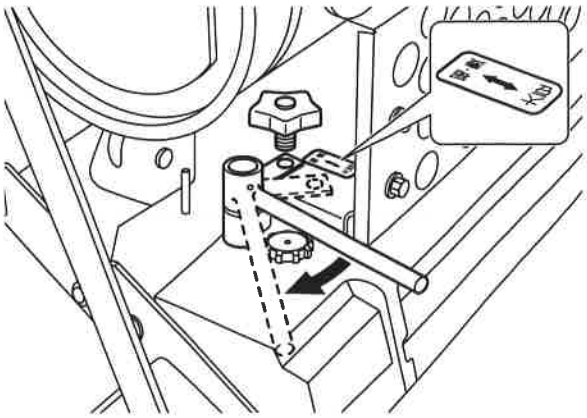




ロータ回転数の変更のしかた

ロータ回転を「稲・麦」「大豆」に切り替えるときに使用します。
工場出荷時は、「稲・麦」になっています。
そばの刈取作業をするときは、「大豆」位置で使用します。





ノブネジを外して、レバーを切り替えることができます。

●「稲・麦」位置
……「稲」・「麦」を刈るときに使用します。

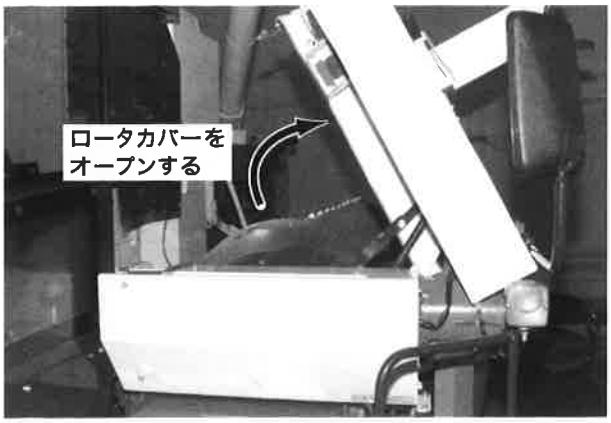
●「大豆」位置
……「大豆」・「小豆」・「そば」を刈るときに使用します。

⚠注意

●高温部分が十分に冷めてから行ってください。
守らないと、ヤケドをするおそれがあります。

コンケーブの配列の変更のしかた

1. ロータカバーをオープンしてください



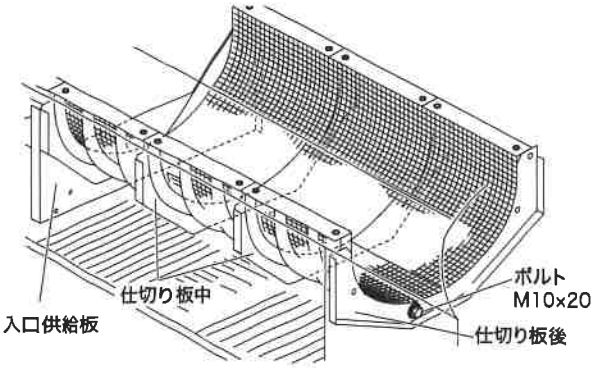
[参考]

●ロータカバーのオープンのしかたは、本機取扱説明書を参照してください。

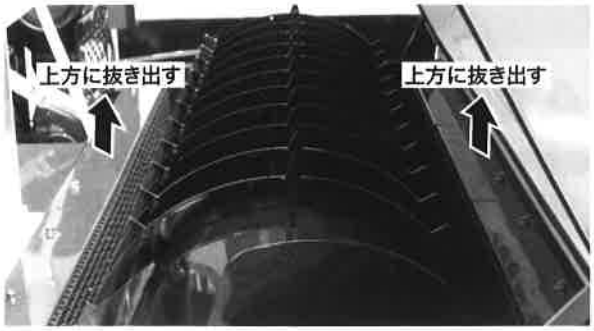
2. 前から下網(6枚)を固定しているボルトM10×20(12本)を外してください。



3. 仕切り板後のボルトM10×20(1本)を外してください。



4. 下網を上方に抜き出してください。



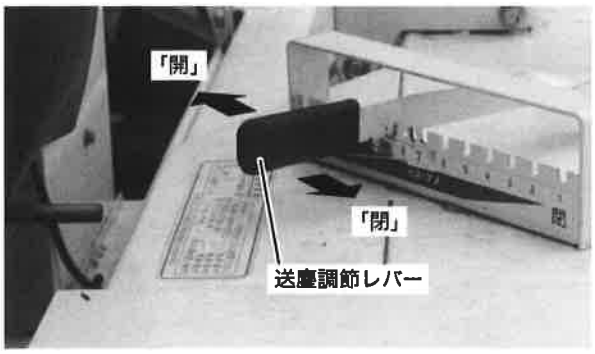
5. 梱包のコンケーブパイプ30を逆の手順で取り付けてください。

[重要]

●コンケーブの耐久性を向上させるために、毎年コンケーブの取付位置を変更してください。
(特に一番前側が摩耗しやすくなります。)

送塵調節レバーの調節のしかた

(MCH950,MCH1100の場合)
送塵調節レバーは「9」の位置で作業を始めてください。
(MCH980の場合)
送塵調節レバーは小豆は「8」、そばは「9」の位置で作業を始めてください。



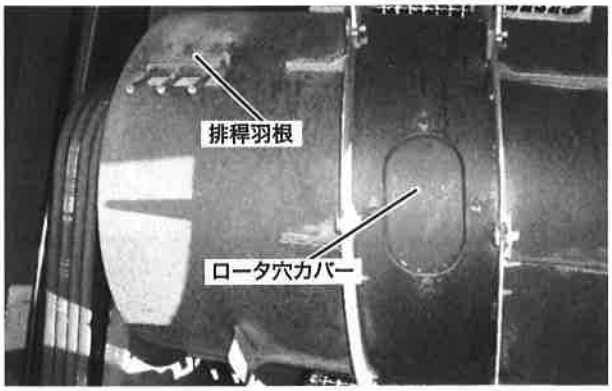
[重要]

●ロスが出ない限り、下記のレバー位置で使用してください。
(MCH950,MCH1100の場合)
「開」側(「9」～「13」)

(MCH980の場合)
「開」側(小豆「8」～「13」、そば「9」～「13」)

排稈板の取り付けのしかた

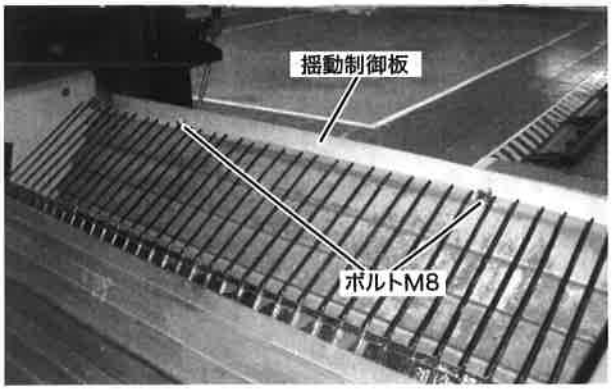
1. ロータカバーをオープンしてください。
   ロータ穴カバーを取り外し、排稈羽根（3箇所）を取り外してください。



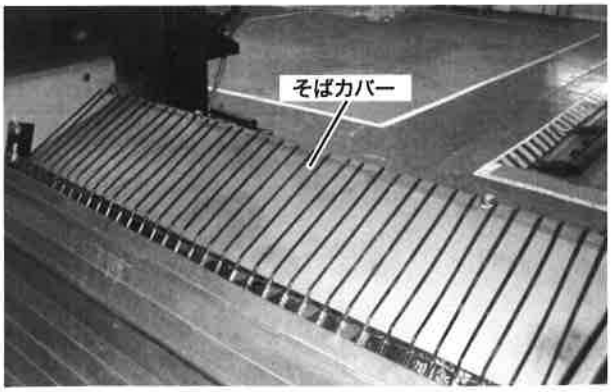
2. 取り外した場所に排稈板(3箇所)をボルトM8×25とザガネ(大丸8、Uナット8で取り付けてください。

そばカバーの取り付けのしかた

1. スプレッダをオープンしてください。
   揺動後部の揺動制御板を固定しているボルトM8（2本）を外してください。

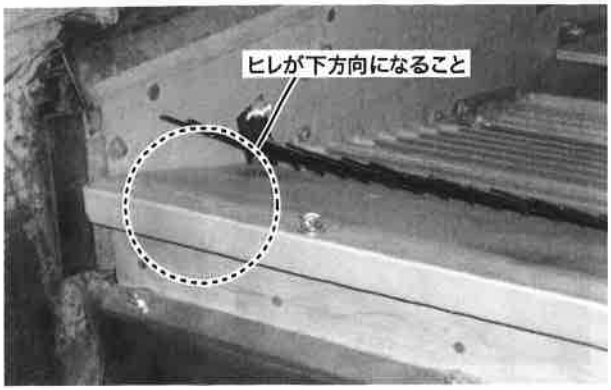


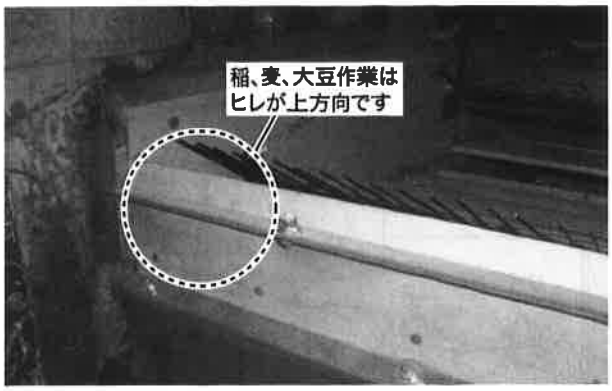
2. そばカバーを取り外した揺動制御板に挟み込んでボルトM8で締め付けてください。



[重要]

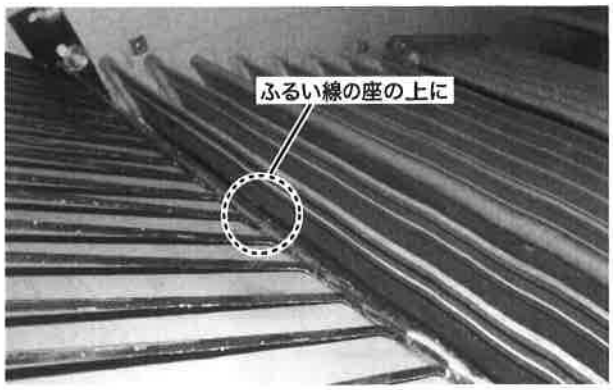
- 揺動制御板は、折り曲げヒレが下方向になるように組み付けてください。(稲・麦・大豆作業は、ヒレを上方向に組み付けてください。)





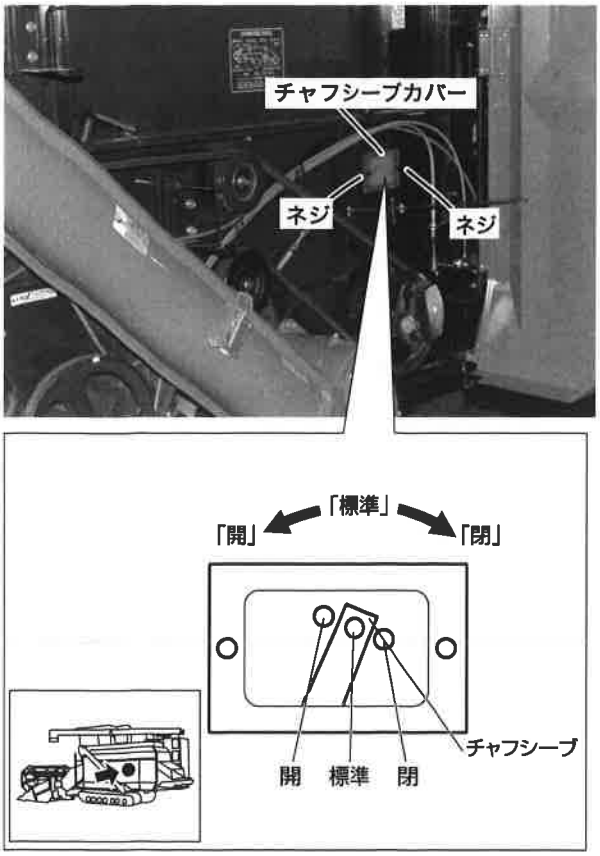
[重要]

- そばカバーの先端部が、ふるい線の座の上に乗るように組み付けてください。



チャフシーブ後の調節のしかた

チャフシーブ後は、「標準」位置に調節してください。



唐箕回転数の調節のしかた

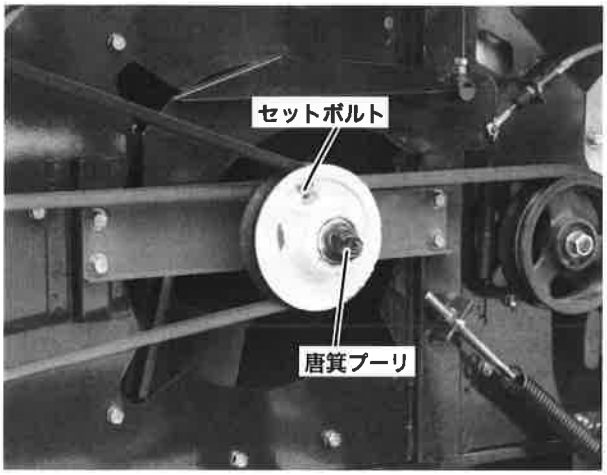
唐箕プーリは、ネジによる可動プーリになっています。選別とロスの具合を見ながら、適宜調節してください。

●選別が悪いとき

……プーリのすき間を広げると唐箕回転数が上がります。

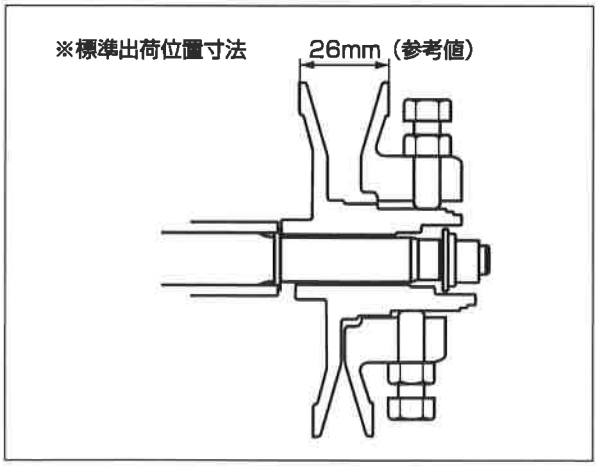
●ロスが多いとき

……プーリのすき間を狭めると唐箕回転数が下がります。

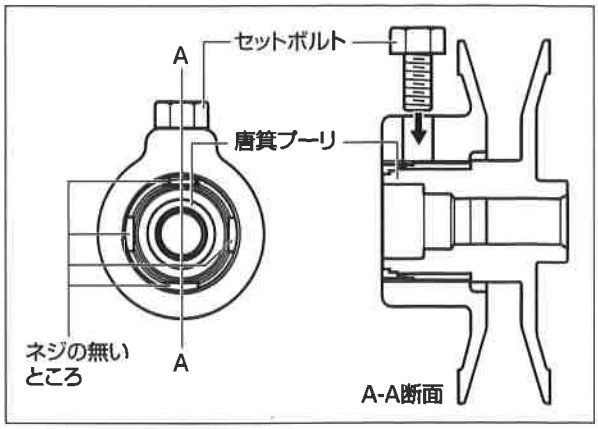


[参考]

●出荷時は、約 1015 ～ 1045rpm にセットされています。



●セットボルトによるプーリの固定は、ネジの無い部分（4ヶ所）で行ってください。



●プーリを1回転すると、約100rpm変化します。（プーリを1/4回転すると、約25rpm変化します）

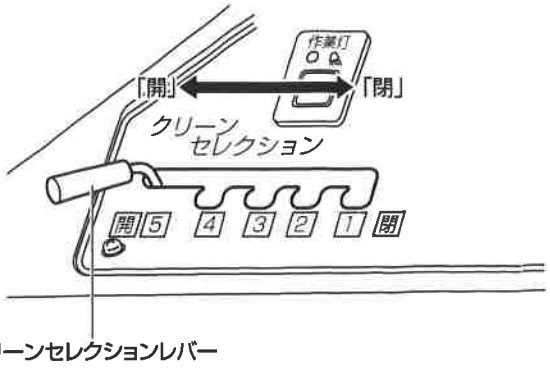
[重要]

●プーリのすき間を広げる場合、寸法を30mm以上広げないでください。広げるとベルトがスリップし、機械の破損や火災の原因となります。
選別が悪く、回転を上げたい場合は可動プーリをゆるめてください。

プーリのすき間を変更した場合はベルトテンションバネの調節が必要です。
本機取説を参照してください。

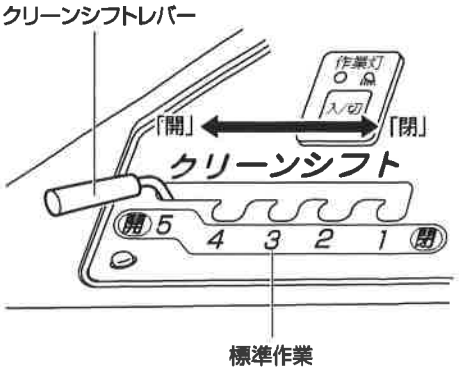
クリーンセレクションレバーの調節のしかた（MCH950用）

クリーンセレクションレバーを「5」位置（「開」側）に調節してください。



クリーンシフトレバーの調節のしかた（MCH980・MCH1100用）

クリーンシフトレバーを「5」位置（「開」側）に調節してください。



4. 主要消耗部品一覧表

区　分	部 品 名	部 品 番 号	数　量	
			BW1100AM	BW1100BM
コンケーブ	コンケーブパイプ　30	97320000340	－	6

4章　上手な収穫作業のしかた

1. そばの収穫時期について

●天候条件にもよりますが、慣行よりも２～３週間後が収穫期です。



●子実が80～90%黒色化してから収穫してください。



2. そばの収穫作業のポイント

●雑草が多い場合や慣行時期刈取りは、チャフシーブ・グレンシーブ・コンケーブ２番などに詰まりやすいので注意してください。
また、刈高さを高くしたほうが雑草の混入が少なくなります。



●こぎ残しの心配がないので、送塵調節レバーを「開」側いっぱいにして作業を開始し、徐々に「閉」側に調節してください。茎を長いまま排出する程度にしてください。

